古文ドリル：「な」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト〜難関私大・国公立二次まで） **著作権**：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「な」の正体（4用法）

古文の「な」は、**①文末に「そ」があるか ②直前の活用形 ③後ろに語が続くか**を見れば見分けられます。同じ一文字に4つの用法が詰まっているので、手順で機械的に判定しましょう。

用法	接続・位置	訳	例
① 禁止の終助詞	終止形＋な（ラ変は連体形）・**文末**	〜するな	行く**な**
② 詠嘆の終助詞	終止形・体言など＋な・**文末**	〜だなあ	来にけり**な**
③ 完了「ぬ」の未然形	**連用形**＋な＋（む・むず・まし・ば）	〜してしまう（だろう）	散り**な**む
④ 「な〜そ」の副詞	な＋連用形＋そ（カ変・サ変は未然形）	〜するな（禁止）	**な**笑ひそ

識別の鉄則（この順でチェック）

1. **文末付近に「そ」があるか** → あれば「**な〜そ**」の禁止の副詞「な」。
2. **「な」の後ろに「む・むず・まし・ましか・ば」が続くか** → 続けば**完了「ぬ」の未然形**（直前は連用形）。
3. **文末で直前が終止形**（行く・見る等）→ **禁止の終助詞**（命令の文脈）か**詠嘆の終助詞**（感動の文脈）。
4. **「な」を「なあ」に替えて通る**→ **詠嘆**。命令・禁止の文脈なら禁止。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① まず文末の「そ」を探す

- 「**な〜そ**」（な笑ひそ・な行きそ）が見えたら、その「な」は禁止の副詞。間に動詞の連用形（カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。

コツ② 「な」の直後を見る

- 直後が「**む・むず・まし・ば**」→ **完了「ぬ」の未然形**（散り**な**む／咲き**な**ば／行き**な**まし）。直前は連用形。
- 直後が**なく文が終わる**→ 禁止か詠嘆の終助詞。

コツ③ 直前の活用形で禁止と完了を分ける

- 終止形＋な（行く**な**）＝禁止の終助詞。
- 連用形＋な（行き**な**むの「な」）＝完了「ぬ」の未然形。
- 四段動詞は終止形（行く）と連用形（行き）が違うので見分けやすい。

よくある引っかけ

- 「行く**な**」（禁止）と「行き**な**む」（完了＋推量）は、直前が終止形か連用形か＋後ろに語が続くかで区別。
- 「な来そ（なこそ）」「なせそ」はカ変・サ変で**未然形**が入る例外。
- 詠嘆と禁止は接続が重なる。最後は文脈（感動か命令か）で決める。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1〜Q20）：　／20
- 標準（Q21〜Q50）：　／30
- 応用（Q51〜Q80）：　／30
- 入試レベル（Q81〜Q100）：　／20
- 合計：　／100

【第1部】基礎編（Q1〜Q20）

4用法を純粋に識別する。各用法5問ずつ。

Q1. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 行く**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：直前「行く」は四段「行く」終止形。文末で「行ってはいけない」。終止形＋な＝禁止の終助詞。

Q2. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 見る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：直前「見る」は上一段「見る」終止形。文末で「見てはいけない」。禁止の終助詞。

Q3. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 泣く**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：直前「泣く」は四段「泣く」終止形。文末で「泣いてはいけない」。禁止の終助詞。

Q4. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> もの言ふ**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：直前「言ふ」は四段「言ふ」終止形。文末で「ものを言ってはいけない」。禁止の終助詞。

Q5. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 恐る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：直前「恐る」は下二段「恐る」終止形。文末で「恐れてはいけない」。禁止の終助詞。

Q6. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 春来にけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「けり」は過去の助動詞終止形。文末で「春が来てしまったなあ」と感動を表す。「なあ」に替えて通るので詠嘆の終助詞。

Q7. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 今宵の月は、いとあかかりけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「あかかり」は形容詞「あかし」連用形（カリ活用）、「けり」は助動詞「けり」終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「今夜の月は、とても明るいことだなあ」。詠嘆の終助詞。

Q8. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あはれなりけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「あはれなり」は形容動詞連用形、「けり」は助動詞「けり」終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「しみじみと趣深いことだなあ」。詠嘆の終助詞。

Q9. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 花散りぬ**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「ぬ」は完了の助動詞終止形。文末で「花が散ってしまったなあ」。「なあ」に替えて通る詠嘆の終助詞。

Q10. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 秋深くなりにけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「けり」終止形＋な。文末で「秋が深くなったなあ」と感動。詠嘆の終助詞。

Q11. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 花散り**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「散り」は四段「散る」連用形。後ろに推量「む」が続く。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「散ってしまうだろう」。

Q12. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 咲き**な**ば、見む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「咲き」は四段「咲く」連用形。後ろに仮定の接続助詞「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「咲いてしまったら」。

Q13. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 行き**な**まし。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「行き」は四段「行く」連用形。後ろに反実仮想「まし」。連用形＋な＋まし＝完了「ぬ」未然形。「行ってしまっただろうに」。

Q14. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 日暮れ**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「暮れ」は下二段「暮る」連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「日が暮れてしまうだろう」。

Q15. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 宴もやがて果て**な**むず。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「果て」は下二段「果つ」連用形。後ろに推量「むず」。連用形＋な＋むず＝完了「ぬ」未然形。「宴もすぐに終わってしまうだろう」。「やがて」は「すぐに」。

Q16. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**笑ひそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」と文末の「そ」が呼応し、間に連用形「笑ひ」。「な〜そ」で「笑うな」という禁止。「な」は副詞的に文中に置かれる。

Q17. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**行きそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「行き」＋「そ」で「行くな」。「な〜そ」の禁止。

Q18. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**泣きそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「泣き」＋「そ」で「泣くな」。「な〜そ」の禁止。

Q19. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**来そ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋カ変「来」の未然形「来（こ）」＋「そ」で「来るな」。「な来そ（なこそ）」はカ変が**未然形**になる例外。

Q20. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**せそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋サ変「す」の未然形「せ」＋「そ」で「するな」。「なせそ」はサ変が**未然形**になる例外。

【第2部】標準編（Q21〜Q50）

さまざまな動詞・文脈で4用法を見分ける。

Q21. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 思ふ**な**よ。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「思ふ」は四段終止形。「な」の後ろは念押しの間投助詞「よ」。文末で「思ってはいけないよ」。禁止の終助詞。

Q22. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 来（き）**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「来（き）」はカ変連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「来てしまうだろう」。カ変連用形は「き」。「来（こ）なむ」と読むと、未然形＋願望の終助詞「なむ」（来てほしい）で別の語になる。

Q23. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**散りそ、桜花。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「散り」＋「そ」で「散るな」。「な〜そ」の禁止。桜への呼びかけ。

Q24. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> うれし**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「うれし」は形容詞終止形。文末で「うれしいなあ」と感動。「なあ」に替えて通る詠嘆の終助詞。

Q25. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 名の立ち**な**ば、人に知られなむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「立ち」は四段連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「名」は評判・うわさ。「うわさが立ってしまったら、人に知られてしまうだろう」。

Q26. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> ゆめ忘る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「忘る」は下二段終止形（または四段終止形）。「ゆめ〜な」で「決して〜するな」。文末で禁止の終助詞。「ゆめ」は「決して」の副詞。

Q27. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 咲き**な**むとす。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「咲き」は四段連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「なむとす」で「今にも咲きそうだ」。

Q28. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**思ひそ。

答え：禁止の副詞「な」(「な〜そ」の構文)　**解説**：「な」＋連用形「思ひ」＋「そ」で「思うな・心配するな」。「な〜そ」の禁止。

Q29. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 暮れ果てぬ**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」　**解説**：「ぬ」は完了の助動詞終止形。文末で「すっかり暮れてしまったなあ」と感動。詠嘆の終助詞。

Q30. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 過ぎ**な**ば、悔いむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」　**解説**：「過ぎ」は上二段「過ぐ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「過ぎてしまったら」。

Q31. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> われを頼む**な**。

答え：禁止の終助詞「な」　**解説**：「頼む」は四段終止形。文末で「私をあてにするな」。禁止の終助詞。

Q32. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**告げそ、人に。

答え：禁止の副詞「な」(「な〜そ」の構文)　**解説**：「な」＋連用形「告げ」＋「そ」で「告げるな」。「な〜そ」の禁止。

Q33. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 散り**な**んとす。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」　**解説**：「散り」は四段連用形。後ろの「ん」は推量「む」の音変化。連用形＋な＋ん（む）＝完了「ぬ」未然形。「なんとす」で「今にも散りそうだ」。

Q34. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 梅の花、めでたく咲きたりけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「たり」は存続の助動詞「たり」連用形、「けり」は終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「梅の花が見事に咲いていることだなあ」。詠嘆の終助詞。「めでたし」は「すばらしい・見事だ」。

Q35. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 老い**な**ば、いかにせむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「老い」は上二段「老ゆ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「老いてしまったら」。

Q36. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**わびそ。

答え：禁止の副詞「な」(「な〜そ」の構文) **解説**：「な」＋連用形「わび」＋「そ」で「思い嘆くな」。「な〜そ」の禁止。「わぶ」は嘆く。

Q37. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 帰り**な**む、いざ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「帰り」は四段連用形。後ろに意志「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「帰ってしまおう」。

Q38. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 騒ぐ**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「騒ぐ」は四段終止形。文末で「騒いではいけない」。禁止の終助詞。

Q39. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 人に問はれ**な**ば、ありのままに言はむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「れ」は受身の助動詞「る」連用形（「問は」は四段未然形）。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「人に尋ねられてしまったら、ありのままに言おう」。

Q40. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**驚かしそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「驚かし」＋「そ」で「驚かすな」。「な〜そ」の禁止。

Q41. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**惜しみそ、命を。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「惜しみ」＋「そ」で「惜しむな」。「な〜そ」の禁止。

Q42. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 散り**な**むと思へど。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「散り」は四段「散る」連用形。後ろに推量「む」が続く。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「散ってしまうだろうと思うけれど」。

Q43. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 雨よ、今日ばかりは降る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「降る」は四段終止形。「雨よ」と呼びかけて命じているので禁止の文脈。文末で「雨よ、今日だけは降ってはいけない（降るな）」。禁止の終助詞。

Q44. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 暮れ**な**んず。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「暮れ」は下二段連用形。後ろの「んず（むず）」は推量。連用形＋な＋んず＝完了「ぬ」未然形。「暮れてしまうだろう」。

Q45. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**嘆きそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「嘆き」＋「そ」で「嘆くな」。「な〜そ」の禁止。

Q46. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 親の残しし宝なり。あだに使ふ**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「使ふ」は四段終止形。親の残した財産をむだにするなと命じている。文末で「親が残した財産だ。むだに使ってはいけない」。禁止の終助詞。「あだに」は「むだに・いいかげんに」。

Q47. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 死に**な**ば、もろともに。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「死に」はナ変「死ぬ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「死んでしまったら」。

Q48. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> いと心憂きことにもありけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「に」は断定の助動詞「なり」連用形、「あり」はラ変連用形、「けり」は終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「本当につらいことであったなあ」。詠嘆の終助詞。「心憂し」は「つらい・情けない」。

Q49. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**捨てそ、この文。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「捨て」＋「そ」で「捨てるな」。「な〜そ」の禁止。

Q50. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 明け**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「明け」は下二段「明く」連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「夜が明けてしまうだろう」。

【第3部】応用編（Q51〜Q80）

禁止と完了の紛らわしい識別、な〜そのカ変・サ変、文脈判断を中心に。

Q51. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 夜の道は危ふし。ひとりして行く**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「行く」は四段終止形・文末。危ないから一人で行くなと命じている。「夜道は危ない。一人で行ってはいけない」。禁止の終助詞。次のQ52「行きなむ」と直前の活用形で比べよ。

Q52. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 行き**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「行き」は四段連用形。後ろに「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「行ってしまおう（だろう）」。Q51（終止形＋な＝禁止）と区別する。

Q53. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**せそ、さること。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋サ変未然形「せ」＋「そ」で「そんなことをするな」。「なせそ」はサ変が未然形になる例外。

Q54. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 見え**な**むと思ふ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「見え」は下二段「見ゆ」連用形。後ろに意志「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「(姿を）見せてしまおうと思う」。

Q55. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 風よ、**な**吹きそ。

答え：禁止の副詞「な」(「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「吹き」＋「そ」で「吹くな」。「な〜そ」の禁止。風への呼びかけ。

Q56. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 旅人よ、わが宿を言問はで過ぐ**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「過ぐ」は上二段終止形。「旅人よ」と呼びかけて命じているので禁止。文末で「旅人よ、私の家を、声もかけずに通り過ぎてはいけない」。禁止の終助詞。「言問はで」の「で」は打消の接続助詞（〜ないで)。

Q57. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 来（き）**な**ば、告げよ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「来（き)」はカ変連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「来てしまったら」。カ変連用形は「き」。

Q58. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**驚きそ。

答え：禁止の副詞「な」(「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「驚き」＋「そ」で「驚くな」。「な〜そ」の禁止。

Q59. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> この山は恐ろしき所なり。旅寝す**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「す」はサ変終止形。恐ろしい山なので旅寝をするなと命じている。文末で「この山は恐ろしい所だ。旅寝をしてはいけない」。終止形＋な＝禁止の終助詞。

Q60. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> かかる事をし**な**ば、悔いなむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「し」はサ変「す」連用形（「事をす」）。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「このようなことをしてしまったら、きっと後悔するだろう」。

Q61. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> ともし火消え**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「消え」は下二段「消ゆ」連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「灯火が消えてしまうだろう」。

Q62. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**わすれそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「わすれ」＋「そ」で「忘れるな」。「な〜そ」の禁止。

Q63. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> ことごとし**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「ことごとし」は形容詞終止形。文末で「大げさだなあ」。詠嘆の終助詞。

Q64. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 我ひとり生き残り**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「残り」は四段連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「生き残ってしまうだろう」。

Q65. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> もの**な**思ひそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「思ひ」＋「そ」で「物思いをするな」。「な〜そ」の禁止。「もの思ふ」の「もの」と「思ひ」の間に「な」が入った形（「もの」は「な」の前に出る）。

Q66. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> たち別れ**な**むず。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「別れ」は下二段「別る」連用形。後ろの「むず」は推量。連用形＋な＋むず＝完了「ぬ」未然形。「別れてしまうだろう」。

Q67. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あなかま、もの言ふ**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「言ふ」は四段終止形。文末で「ものを言ってはいけない」。禁止の終助詞。「あなかま」は「静かに」。

Q68. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 日暮れ**な**ましかば、道に迷はまし。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「暮れ」は下二段「暮る」連用形。後ろに反実仮想「まし」の未然形「ましか」＋「ば」。連用形＋な＋ましか＝完了「ぬ」未然形。「ましかば〜まし」で「もし日が暮れてしまっていたら、道に迷っただろうに」。

Q69. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**急ぎそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「急ぎ」＋「そ」で「急ぐな」。「な〜そ」の禁止。

Q70. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> はかなき夢をも見てけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「て」は完了の助動詞「つ」連用形、「けり」は終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「はかない夢を見てしまったことだなあ」。詠嘆の終助詞。

Q71. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 雪降り**な**ば、道とぢなむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「降り」は四段連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「雪が降ってしまったら」。

Q72. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> ゆめゆめ怠る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「怠る」は四段終止形。「ゆめゆめ〜な」で「決して怠るな」。文末の禁止の終助詞。

Q73. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> もの**な**言ひそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「言ひ」＋「そ」で「ものを言うな」。「な〜そ」の禁止。「もの言ふ」の「もの」と「言ひ」の間に「な」が入った形（「もの」は「な」の前に出る）。

Q74. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 雨降らざりせば、我も出で**な**まし。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「出で」は下二段「出づ」連用形。後ろに反実仮想「まし」（前の「せば」と組む「せば〜まし」）。連用形＋な＋まし＝完了「ぬ」未然形。「もし雨が降らなかったなら、私も出かけてしまっただろうに」。

Q75. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あたら桜を**な**散らしそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「散らし」＋「そ」で「散らすな」。「な〜そ」の禁止。「あたら」は「惜しくも」。

Q76. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 立ち寄る**な**。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「立ち寄る」は四段終止形。文末で「立ち寄ってはいけない」。禁止の終助詞。

Q77. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 思ひ初め**な**ば、苦しからむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「初め」は下二段「初む」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「思いはじめてしまったら」。

Q78. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**起こしそ、寝たる人を。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「起こし」＋「そ」で「起こすな」。「な〜そ」の禁止。

Q79. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 秋の夕暮れは、げにあはれなるものなりけり**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「なり」は断定の助動詞「なり」連用形、「けり」は終止形。文の言い切りの形＋な。文末で「秋の夕暮れは、なるほどしみじみと趣深いものであることだなあ」。詠嘆の終助詞。「げに」は「なるほど・本当に」。文中の「あはれなる」（形容動詞の連体形）と「なり」（断定）の「な」は、傍線の「な」とは別。

Q80. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 我を待ち**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「待ち」は四段連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「な＋む」は「きっと〜だろう」と訳すとよい。「（あの人は）きっと私を待っているだろう」。

【第4部】入試レベル（Q81〜Q100）

有名出典・複合的な文で4用法を確実に判別する。

Q81. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 風よ**な**散らしそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「散らし」＋「そ」で「散らすな」。「な〜そ」の禁止。風への呼びかけ。

Q82. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 白玉か何ぞと人の問ひし時露と答へて消え**な**ましものを（伊勢物語）

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「消え」は下二段「消ゆ」連用形。後ろに反実仮想「まし」。連用形＋な＋まし＝完了「ぬ」未然形。「（あの人が）『白玉かしら、何かしら』と尋ねたとき、『露だよ』と答えて、（露のように）消えてしまえばよかったのに」。

Q83. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> ほととぎす、いたく**な**鳴きそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「鳴き」＋「そ」で「鳴くな」。「な〜そ」の禁止。「ほととぎすよ、そんなにひどく鳴くな」。「いたく」は「ひどく」。

Q84. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あはれ、はかなき世**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：体言「世」＋「な」。文末で「ああ、はかない世であることよ（はかない世だなあ）」と感動。体言＋な＝詠嘆の終助詞。

Q85. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> つひに忘れ**な**む。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「忘れ」は下二段「忘る」連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「とうとう忘れてしまうだろう」。

Q86. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 玉の緒よ絶え**な**ば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする（新古今和歌集）

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「絶え」は下二段「絶ゆ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。すぐ後の「絶えね」の「ね」は同じ「ぬ」の命令形。「わが命よ、絶えてしまうなら絶えてしまえ。生きながらえていると、（恋を）忍ぶ心が弱ってしまうといけないから」。

Q87. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 物**な**思ひそ、春は来にけり。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「思ひ」＋「そ」で「物思いをするな」。「な〜そ」の禁止。「物思ふ」の「物」と「思ひ」の間に「な」が入った形（「物」は「な」の前に出る）。

Q88. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あやまちす**な**。心して降りよ。（徒然草）

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「す」はサ変終止形。木から降りる人に、木登りの名人が声をかけている。後ろの「降りよ」（命令形）と同じく命令の文脈。「けがをするな。気をつけて降りよ」。終止形＋な＝禁止の終助詞。「心して」は「気をつけて」。

Q89. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 暮れ**な**むとすれど、帰らず。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「暮れ」は下二段連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「なむとす」で「今にも日が暮れようとするけれど、帰らない」。

Q90. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 香を**な**隠しそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「隠し」＋「そ」で「隠すな」。「な〜そ」の禁止。

Q91. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> いたづらに過ぎ**な**ば、惜しからむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「過ぎ」は上二段「過ぐ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「むなしく過ぎてしまったら」。

Q92. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 言ふ**な**、ゆめ。

答え：禁止の終助詞「な」 **解説**：「言ふ」は四段終止形。文末で「決して言うな」。終止形＋な＝禁止の終助詞。後ろの「ゆめ」は強めの倒置。

Q93. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 鶏（とり）の鳴き**な**む時を待ちて、出で立たむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「鳴き」は四段連用形。後ろの「む」は連体形で体言「時」に続く婉曲（〜ような）。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「鶏が鳴いてしまうような時（夜明け）を待って、出発しよう」。

Q94. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> **な**侮りそ、をさなき者を。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「侮り」＋「そ」で「侮るな」。「な〜そ」の禁止。

Q95. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 我が宿の花見がてらに来る人は散り**な**むのちぞ恋しかるべき（古今和歌集）

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「散り」は四段連用形。後ろの「む」は連体形で体言「のち」に続く婉曲（〜ような）。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「（花見がてらに来る人は）花が散ってしまったようなあとこそ、恋しく思われるにちがいない」。

Q96. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あたら命を**な**捨てそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「捨て」＋「そ」で「捨てるな」。「な〜そ」の禁止。「あたら」は「惜しくも」。

Q97. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 久方の天の川原の渡し守君渡り**な**ば梶隠してよ（古今和歌集）

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「渡り」は四段「渡る」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「天の川の渡し守よ、あの方が渡ってきてしまったら、（帰れないように）梶を隠しておくれ」。

Q98. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> あはれと思へ、人**な**しらせそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な〜そ」の構文） **解説**：「な」＋連用形「しらせ」＋「そ」で「知らせるな」。「な〜そ」の禁止。

Q99. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> 月**な**。

答え：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：体言「月」＋「な」。文末で「（美しい）月だなあ」と感動。体言＋な＝詠嘆の終助詞。直前が体言なので禁止（終止形接続）や完了（連用形接続）ではない。

Q100. 次の傍線部「な」を識別せよ。

> いざ桜我も散り**な**むひとさかりありなば人に憂きめ見えなむ（古今和歌集）

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「散り」は四段「散る」連用形。後ろの「む」は意志（主語は「我」）。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「さあ桜よ、私も（お前と一緒に）散ってしまおう」。後の「ありなば」「見えなむ」の「な」も、連用形に付いた完了「ぬ」の未然形。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、次の順でチェックし直しましょう。

- **文末に「そ」**があれば → **「な〜そ」の禁止の副詞**（間は連用形、カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。
- **「な」の後ろに「む・むず・まし・ば」**が続けば → **完了「ぬ」の未然形**（直前は連用形）。
- **文末・終止形＋な**で命令の文脈 → **禁止の終助詞**（〜するな）。
- **「なあ」に替えて通り、感動の文脈** → **詠嘆の終助詞**（〜だなあ）。

特に「行く**な**（禁止）」と「行き**な**む（完了）」は、**直前が終止形か連用形か＋後ろに語が続くか**で必ず見分けられます。手順を体に入れて、入試本番でも一瞬で判定しましょう。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「ぬ」「ね」「に」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。
誰でも古典塾（https://kotennosennsei.com）　／ 個別指導塾フィット・中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太　https://kotennosennsei.com